

平成24年度 岐阜県珈琲文化研究会 事業計画案

●本会の目的（趣意書要約）

- ① 珈琲に関する技術力、発想力の向上
- ② 珈琲文化の発信
- ③ 珈琲王国岐阜県の認知度アップ（ブランディング）

上記目的を達するための活動

- (ア)定例会の開催（〇〇に合う珈琲）〔①、②、③〕
- (イ)珈琲大学（各種珈琲に関する市民講座）〔②、③〕
- (ウ)珈琲日和／通称:珈琲ミシュラン（珈琲店の観光ガイドブック）〔①、②、③〕
- (エ)珈琲図書館（珈琲のポータルサイト）〔②、③〕
- (オ)各種イベント参加〔②、③〕

以下に、活動内容の詳細を記す。

(ア) 定例会の開催（〇〇に合う珈琲）

〔目的〕

珈琲関係者の技術力・発想力を高めるとともに、定例会を公開にて行い、活動内容を一般の方々にも知っていただき、認知度を高めていく。

〔方法〕

他の県産品をテーマにしたオリジナルコーヒーをメンバーが発表しあう。

〔日程〕

2, 3ヶ月に1回程度開催する。なお、開催地は、県内各地を順次回っていく。

(イ) 珈琲大学（各種珈琲に関する市民講座）

〔目的〕

珈琲文化の発信・浸透や、次世代の珈琲業界従事者や飲用者の拡大・育成へ向けての啓蒙活動。

〔方法〕

県内各地で、珈琲教室を定期的で開催する。

〔日程〕

すでに各会員が個別に行っており、それを継続的に実施するとともに、全体としての体系化・組織化・統一化を順次行っており、『珈琲大学』としてブランディングしていく。

(ウ) 珈琲日和／通称:珈琲ミシュラン（珈琲店の観光ガイドブック）

〔目的〕

珈琲関係者の技術等向上の動機付けとなるとともに、文化発信・認知度アップならびに観光客の増大を図る。

〔方法〕

覆面調査を実施し、珈琲店を味・接客・利便性・雰囲気など、各種基準を設けて格付けし、良いところを紹介していく。

〔日程〕

例えば、3年に1回発行する。

(エ) 珈琲図書館（珈琲のポータルサイト）

〔目的〕

珈琲に関する各種情報・文化を発信し、上記定例会や珈琲大学・珈琲日和の認知度アップ、会員のサイト紹介等を行うと同時に、会員間または会員と一般の方とのコミュニケーションの場とする。

〔方法〕

まずは、無料ブログや facebook 等を利用して作成する。

〔日程〕

随時、作成していく。

(オ) 各種イベント参加

〔目的〕

認知度アップとともに、活動費の捻出を図る。

〔方法〕

まずは、第3者が実施するイベントに参加しつつ、時期を見て、珈琲メインのイベントを開催したい。

〔日程〕

随時、実施する。